

令和3年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立湖北中学校）

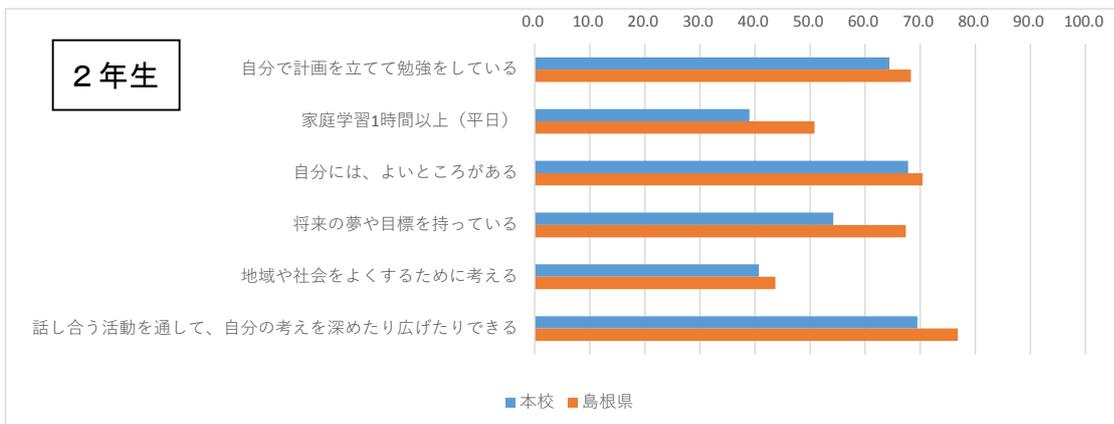
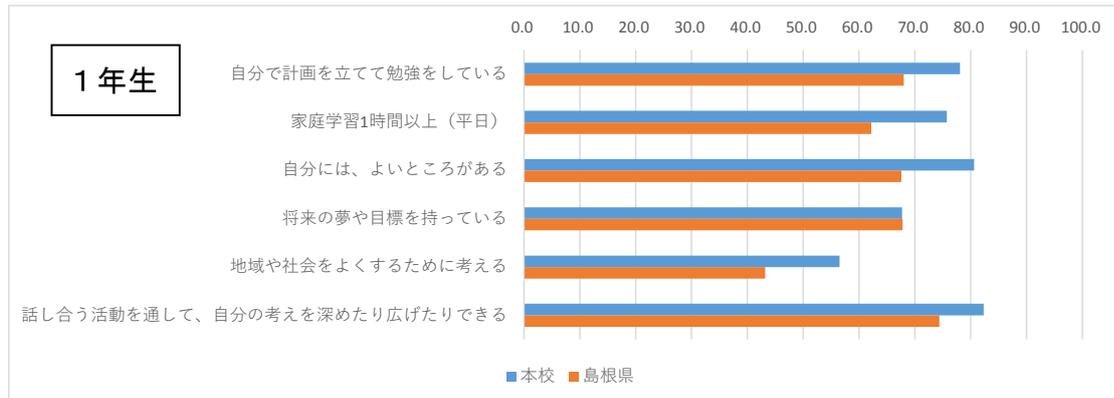
(1) 学力調査結果から見られた成果と課題 (○: 成果 ●: 課題)

1年国語	○「漢字を読む」「説明的な文章の内容を読み取る」「文章を書く」などの力が特に付いている。 ●「文学的な文章の内容を読み取る」力にやや課題があるので、登場人物の心情について描写を基に捉える学習を行う必要がある。	2年国語	○「話し手の考えを捉え、自分の考えをまとめる」力は身に付いている生徒が多い。 ●記述式の問題の正答率が一律に低い。特に、長文記述問題の無回答率が半数以上と多く、課題に沿って文章を書くこと自体に苦手意識をもっている生徒が多い。
1年数学	○基本的な計算力は身に付いている。また、数字や文字が何を示しているのかはわかっている。 ●文章の中から数量関係を読み取り、未知数として捉え文字等を利用する数学的表現や計算に課題がある。 ●個人差が大きい。	2年数学	○計算力は身に付いている。 ●数量関係の読み取りや数学的表現に課題がある。 ●「ともなって変わる」といった関数的な見方や考え方には大きく個人差があり、身に付いていない生徒が多い。 ●データの読み取り力が不足している。
1年英語	○リスニング力が高く、英文を読み取る力、要点をつかむ力も高い。 ●場面に応じて書く英作文を含め、正確な英文を書く力が低い。作文する機会を授業だけでなく、家庭学習でも作るなどして力を付けたい。	2年英語	○短めの対話を聞き取ることができる。 ●長めの内容を聞き取ることが苦手としている。 ●語形・語法の知識・理解が低く、英文を書く力も低い。授業に加え、家庭学習でも基礎的な問題に取り組んでいく必要がある。

(2) 生活意識調査から見られた成果と課題 (○: 成果 ●: 課題)

1年	○基本的な生活習慣が身に付いている生徒が多い。地域とのつながりを大事にし行事に参加したり、普段の生活で困っている人の手助けをしたりする生徒が大半である。 ●将来の夢や目標をまだもっていない生徒もいるので、自分の将来について考える時間や学校外の人と触れ合う機会を多くもちたい。	2年	○地域のボランティアに参加しようとする意識は高い。 ●将来のことを考えたり目標をもって生活したりすることが苦手で、見通しをもった生活ができていない生徒が多い。 ●家庭学習の習慣が身に付いておらず、自ら進んで学ぼうとする意欲が低い。また、授業では、積極的に話を聞くことができず、大切なことを聞き逃している場面が多い。
----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 63名 2年生 61名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。